

地球温暖化に向けて農業研究はいま何をすべきか

～東海地域農業関係試験研究機関連携シンポジウム～

愛知県・静岡県
三重県・岐阜県 **参加費:無料**

近年の地球温暖化で、夏期の高温による影響や暖冬による作物の耐寒性低下に伴う凍害等が問題となっており、農業生産における品質低下や収量の不安定化を招いています。

そこで、東海4県の農業関係試験研究機関の地球温暖化に向けた研究の取り組みについて、広く皆様に知っていただくためのシンポジウムを開催します。

開催日時 平成26年11月20日(木)
13時～16時

開催場所 岐阜県図書館(岐阜市宇佐4-2-1)
多目的ホール・企画展示室

参加対象 農業者、一般、企業、行政、研究
機関等 どなたでも参加できます

定員 200名

申込期限 平成26年11月14日(金)
申込方法 申込書に必要事項を記入してFAXまたはE-mailで申込ください



★県図書館へのアクセス

- JR西岐阜駅から「西ぎふ・くるくるバス」にて「県図書館・美術館」下車
- 名鉄岐阜駅・JR岐阜駅から
岐阜バス「加野団地線」の「市橋」ゆきにて「県図書館」下車
- 駐車場 382台分

○基調講演 【13:15～14:00】多目的ホール
岐阜県恵那農林事務所
「暖冬の影響によるクリ凍害対策の取組事例について」



○事例発表 【14:00～14:40 15:20～16:00】多目的ホール

- (1) 愛知県農業総合試験場
「水稻高温耐性品種「愛知123号」の育成」
- (2) 静岡県農林技術研究所
「温暖化に対応したカンキツ果皮障害軽減技術と新作型の開発」
- (3) 三重県農業研究所
「ミナミアオカメムシの分布域の変動とその予測技術」
- (4) 岐阜県農業技術センター
「ドライミストと根圏冷却栽培システムによるバラの品質向上」

○研究展示 【14:40～15:20】企画展示室
温暖化に関する研究成果などの展示

主催：岐阜県農業技術センター、岐阜県中山間農業研究所、
愛知県農業総合試験場、静岡県農林技術研究所、
三重県農業研究所